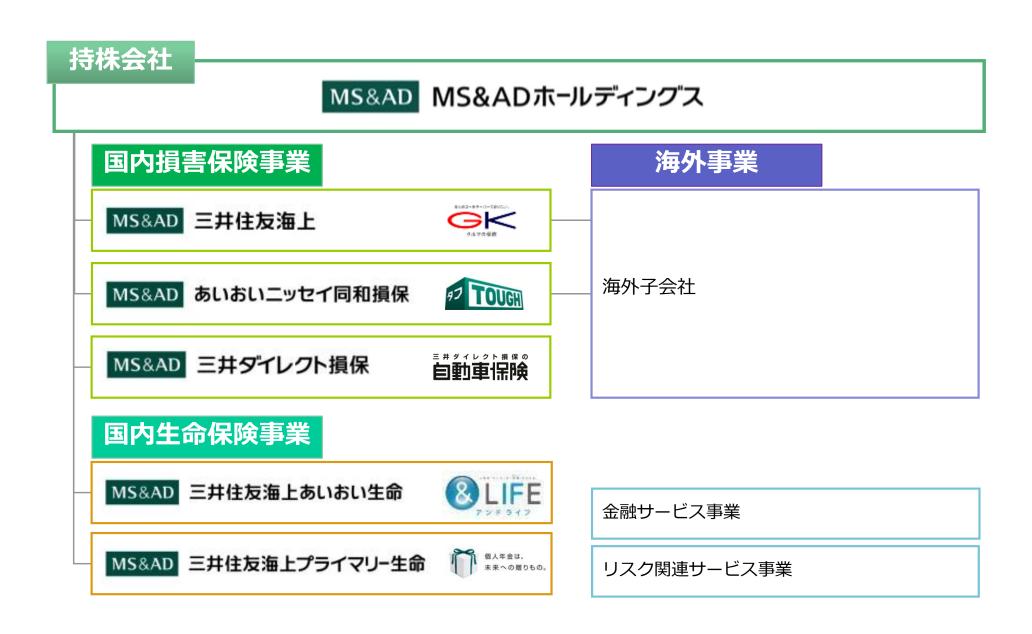


シンガポールの損害保険会社First Capital社の買収と Fairfax社とのグローバルパートナーシップの締結 の合意について 2017年8月24日(木)

MS&ADインシュアランス グループの概要



この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

・ M S & A Dホールディングス

MS&AD

· 三井住友海上、MS

あいおい損保、IOI

・ ニッセイ同和損保、NDI

あいおいニッセイ同和損保、AD

・ 三井ダイレクト損保、MD

・三井住友海上きらめき生命

あいおい生命

・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (=三井住友海上あいおい生命保険㈱)

・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命(=三井住友海上プライマリー生命保険㈱)

(=MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))

(=MS&ADTVSTTSVXJULT)

(=三井住友海上火災保険㈱)

(=あいおい損害保険(株))

(=ニッセイ同和損害保険㈱)

(=あいおい二ッセイ同和損害保険㈱)

(= 三井ダイレクト損害保険(株))

(=三井住友海上きらめき生命保険㈱)

(=あいおい生命保険(株))

将来の見通しに関する記載等に関する注意事項

重要情報

本プレゼンテーションは、いかなる法域においても、 MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社(以下、「MS&ADホールディングス」といいます。)の 子会社である三井住友海上火災保険株式会社(以下、「三井住友海上」といいます。MS&ADホールディングスとあわせて、以下「MS&AD」といいます。)の子会社の異動を伴う 株式取得に係わり一般に公表するための発表資料であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。 本プレゼンテーションに含まれている情報は、米国における証券の販売の申込みではなく、またこれを意図するものでもありません。米国においては、1933年米国証券法に基づ く登録を行うか、又は登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集又は販売を行うことはできません。

将来の見通しに関する記載

本プレゼンテーションには、将来の見通しに関する記載が含まれており、これは、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び 未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、 こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当 社は、将来に関する記述の更新を公表する義務を一切負うものではありません。

本日のポイント

First Capital社買収の戦略的意義

- (1)シンガポール市場における成長性と収益性の向上
 - ・シンガポール市場でNo.1ポジションの確立
 - ・アジア地域のローカル企業分野のポートフォリオ拡大
- (2)ASEAN市場における主導的地位の維持・強化
 - ・ASEAN No.1の地位の強化
 - ・ASEAN地域でのさらなる成長に向けたシナジーの実現

Fairfax社とのグローバルなパートナーシップ

世界30か国以上に保険子会社を有し、特に北米やロイズで高いプレゼンスをもつ、グローバル大手保険・金融グループFairfax社との提携関係を構築・強化することにより、海外事業のさらなる成長を実現

1. 買収の概要

買収形態	三井住友海上が、Fairfax Asia Limited社*¹よりFirst Capital社の株式の97.7%を取得し、子会社化		
買収価格/買収総額 (概算額)	First Capital社の普通株式 アドバイザリー費用等 買収価額合計	: 約16億USドル(約1,744億円)* ² : 約11億円 : 約1,755億円	
買収条件	普通株式1株当たり 65.5USドル ※買収価格は、同社の1株当たり純資産の3.3倍に相当します。		
のれんへの影響 (概算額)	約1,230億円 (買収総額 – First Capital社2016年度期末純資産額)		
買収資金	手元資金にて充当 ※エクイティファイナンスは行わない		
買収完了時期	関係当局の承認等を前提として、2017年度第4四半期中(2018年1月 – 3月)の完了を 予定		

^{*1} Fairfax社のアジア地域の持株会社(100%子会社) *2 1USドル=109円で換算

2. First Capital社の概要 (1)会社概要

- •シンガポール最大の損害保険会社
- ◆シンガポールおよびASEAN域内の企業向け財物、船舶保険の引受に強みを持つ。

■ 設立年月: 1950年

■ 本社: シンガポール

■ 代表: Ramaswamy Athappan CEO

■ 従業員数*1: 約160名

■ 収入保険料*2: 542百万シンガポールドル(約434億円*3)

■ 当期純利益*2: 89百万シンガポールドル(約72億円*3)

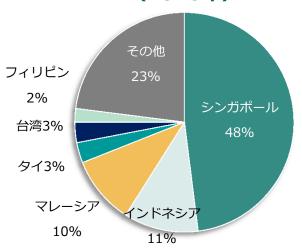
■ 純資産*1: 664百万シンガポールドル(約531億円*3)

■ 格付*1: A Excellent (A.M. Best)

■ 主要株主: Fairfax Asia Limited社 : 97.7%

その他 : 2.3%

グロス保険料収入の国別内訳 (2016年)



グロス収入保険料の 種目別内訳(2016年)



^{*1 2016}年度末時点

^{*2 2016}年度実績値

^{*3 1}シンガポールドル=¥80で換算

2. First Capital社の概要 (2)First Capital社の強み

シンガポール 保険市場での プレゼンス

- シンガポール市場におけるリーディングプレーヤー (総収入保険料第1位の損害保険会社)
- シンガポールをはじめASEAN地域のローカル企業分野 の保険引受に強み

高い収益性

- 過去5年平均ネットCOR*1 76%、ROE 15% と 高い収益性を安定的に維持
- 収益源は多岐に渡り、リスク源泉国、保険種目等が バランスよく分散
- 適切なラインサイズマネジメントおよび自然災害 リスクの集積抑制による、安定的な収益構造

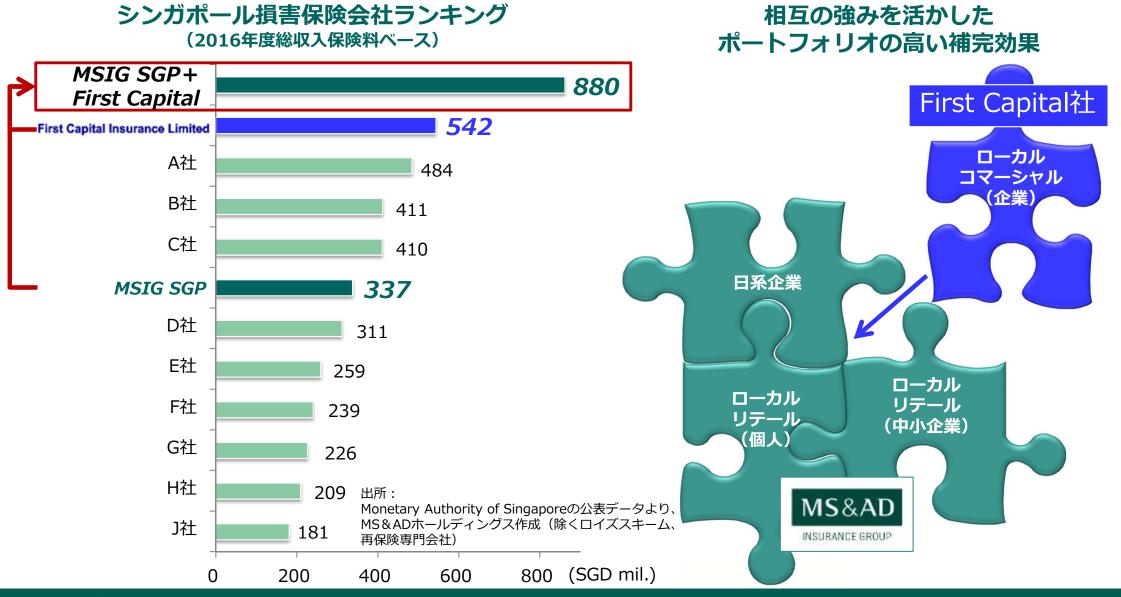
強固な事業基盤

ビジネスパートナーとの信頼関係を大切にするという理念のもと、顧客や再保険会社、ブローカー等と、強固かつ長期安定的な関係を構築

^{*1} Combined Ratio

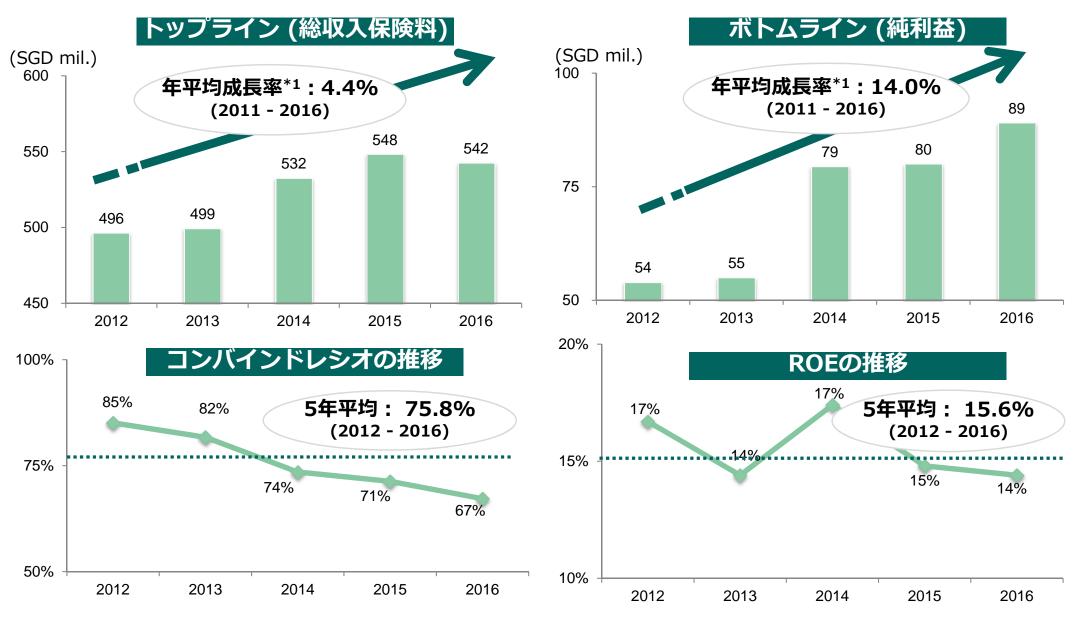
3. First Capital社買収の戦略的意義 (1)シンガポール市場における成長性と収益性の向上

- •シンガポール最大の損害保険会社であるFirst Capital社をグループに迎え、No.1のポジションを確立する。
- ・同社は、保険ハブであるシンガポール市場に集まるアジアのローカル企業分野の引受に強みを有しており、日系企業やリテール・中小企業分野に強みを有する当社の既存事業との間で、ポートフォリオの高い補完効果を見込む。



3. First Capital社買収の戦略的意義 (1)シンガポール市場における成長性と収益性の向上

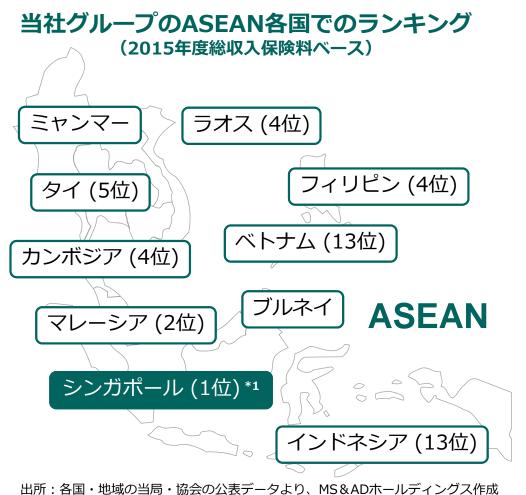
• First Capital社の高い収益性を取込み、相互に強みを補完することにより、成長性・収益性を一層向上させる。



出所: First Capital社 Annual Report 2011~2016 *1 2011年を起点とする5年間の平均成長率

3. First Capital社買収の戦略的意義 (2)ASEAN市場における主導的地位の維持・強化

- •First Capital社は、単一の保険会社としてはASEAN地域でもトップクラスの保険料規模と収益を誇り、同社をグループに迎えることで、ASEANでのトップのポジションをさらに確固たるものとする。
- •First Capital社のローカル企業分野の引受ノウハウや、同社が成長戦略の1つとして掲げるデジタル技術等と、 当社ネットワークを融合することにより、新規ビジネスを拡大する。



ASEAN地域内での新領域における シナジー効果の発揮

MS&AD

INSURANCE GROUP

全ASEAN加盟 国・地域に広がる ネットワーク First Capital Insurance Limited

ローカル企業分野 の引受ノウハウや デジタル技術等

ASEAN全域での新規ビジネス展開

^{*1 2015}年度における当社とFirst Capital社の総収入保険料を単純合算

4. Fairfax社との提携によるさらなる成長の実現

- Fairfax社は、世界30か国以上に保険子会社を有するグローバル大手保険・金融グループ
- ・同社との再保険やデジタル技術の活用等を含むグローバルな提携を通じて、当社海外事業のさらなる成長を 実現をしていく。

MS&AD (三井住友海上)

世界42か国・地域に展開 する保険・金融サービス グループ

- 日本、アセアン、ロイズでの 高いプレゼンス
- グローバルな保険引受態勢
- アジアを中心とするリテール ネットワーク







FAIRFAX

世界30か国以上に保険 子会社を有するグローバルな 大手保険・金融グループ

- 北米やロイズに高いプレゼンス
- グループ内に先進的なデジタル 技術を研究・開発する組織













5. グループコア利益とグループROEへの効果

・2016年度実績による試算では、グループコア利益を70億円、グループROEを0.3ptを押し上げる。

グループコア利益/グループROEへの影響(2016年度実績ベースの試算値)

	MS&AD (a)	買収効果 (b)	MS&AD+First Capital Total (a)+(b)
グループコア利益	2,137億円	+ 70億円*1	2,207億円
グループROE	7.9%	+0.3pt*2	8.2%

^{※1} グループコア利益 の買収効果 = First Capital社2016年度当期純利益(1シンガポールドル=¥80で換算)×97.7%

^{※2} グループROE の買収効果

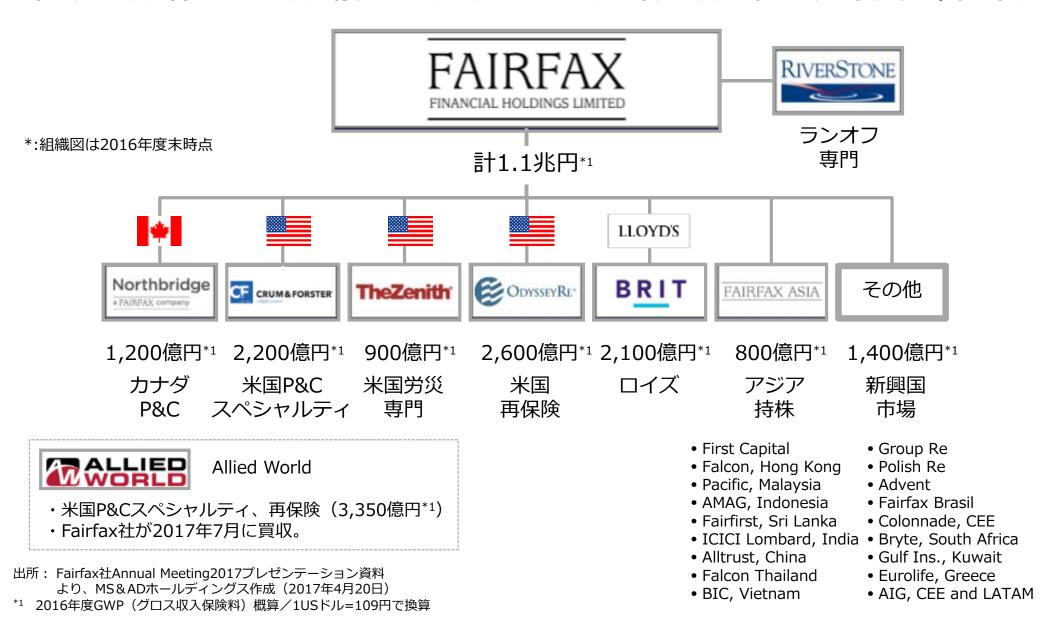
⁼ First Capital社2016年度当期純利益(1シンガポールドル=¥80で換算)×97.7% / MS&AD社2016年度連結純資産 (期初期末平均、除く新株予約権・非支配株主持分)



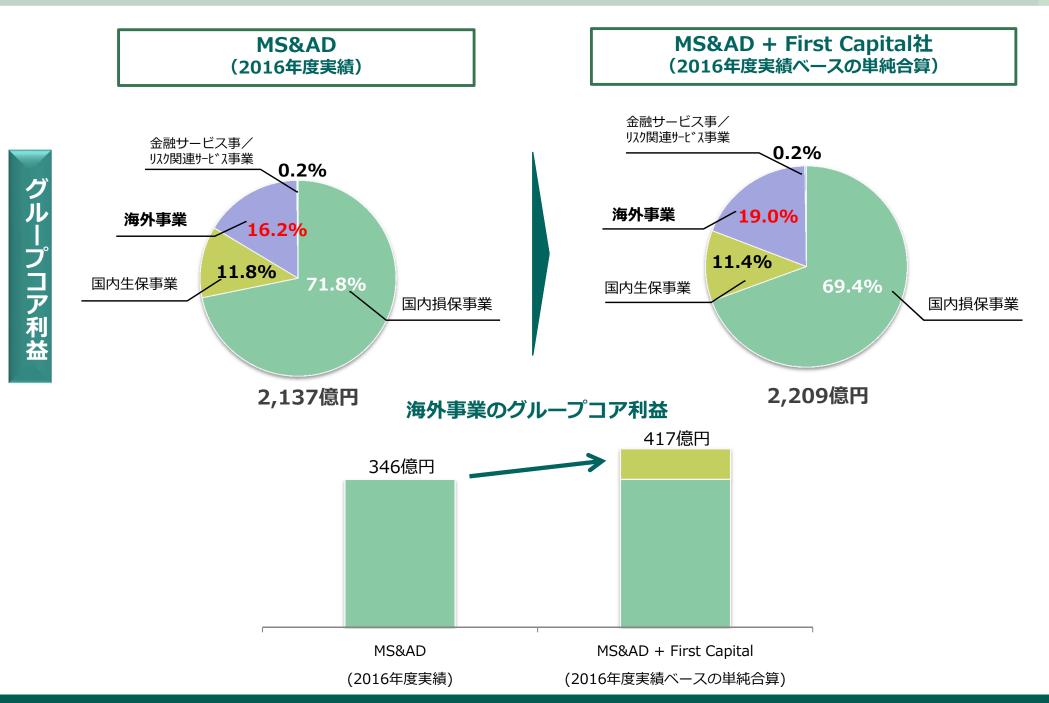
補足資料

【補足資料】 Fairfax社グループの概要

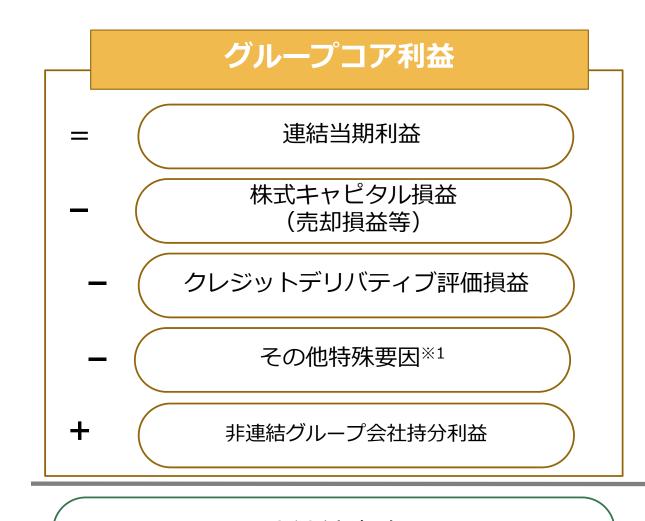
- ・世界30か国以上に保険子会社を有するグローバル大手保険・金融グループ
- ・米国やロイズに高いプレゼンスを有するほか、グループ内に先進的なデジタル技術を研究・開発する組織を備える。



【補足資料】グループコア利益の構成への影響



【補足資料】「グループコア利益」「グループROE」の計算方法



グループ ROE

連結純資産

(期初・期末平均、除く新株予約権・非支配株主持分)

※1 その他特殊要因とは、特別損益(除く価格変動準備金繰入・戻入、税後)およびのれん償却等